

< 竪穴住居跡のカマド >

田面木遺跡の集落があった飛鳥・奈良・平安時代の人びとは、竪穴住居に暮らしていました。竪穴住居には食事をつくる煮炊き用のカマドが粘土で作られています。

発掘調査では当時使用していたままの完全な形のカマドが見つかることは中々ありません。それは長い時間が経ったことで自然と壊れたものもありますが、田面木遺跡の竪穴住居跡では意図的に石や粘土、土器などをつかって塞ごうとしたと思われるものもあり、カマドの周辺では他の場所より土器などの遺物が多くみつかる傾向にあります。

カマドは人びとにとって大切なものだったからこそ、その場所を離れることになった人びとが最後にカマドを封印するとともにお祭りのようなものをしていたのかもしれない。



火床面(焚き口)
薪などを使い、
火を焚いた場所

煙道
カマド内の煙を外へ
出すためのトンネル

袖
粘土で作られた
壊れたカマドの
壁が残ったもの

竪穴住居跡内のカマド検出状況



カマド周辺の土器出土状況

600 7世紀	飛鳥時代 ●蝦夷と呼ばれた人々の集落の増加 ●末期古墳がつくられ始める	田面木平(1) 鹿島沢古墳	韓国から伝わった大刀の柄頭 丹後平古墳群 7~8世紀	645 大化の改新 ●律令政治が始まる
700 8世紀	奈良時代 阿光坊古墳(おいらせ町) ●集落数が減少する	酒美平・丹後平古墳群 櫛引		701 律令国家が成立 724 多賀城創建 794 都を平安京に移す
800 9世紀	811 文室綿麻呂が馬淵川流域に侵入する	岩ノ沢平 牛ヶ沢(4)・殿見 熊ノ堂 大仏館・砂子 上七崎・林ノ前	律令祭祀に使われた土馬 岩ノ沢平遺跡 9世紀	802 坂上田村麻呂が胆沢城を築く ●藤原氏の勢力拡大
900 10世紀	●鉄生産の開始、製塩の拡大 ●五所川原 須恵器生産開始 ●環濠集落が出現する	大仏	中国産の白磁皿 大仏遺跡・11世紀	935 承平・天慶の乱おこる ●武士団の成長
1000 11世紀	平安時代 五所川原須恵器窯跡 高屋敷館跡(青森市)			1051 前九年合戦おこる 1083 後三年合戦おこる ●平氏の台頭、源平争乱
1100 12世紀	●南部光行が糠部郡を賜り、 入部したという			1192 源頼朝が征夷大将軍となる

八戸市埋蔵文化財センター

是川縄文館

TEL:0178-38-9511
http://www.korekawa-jomon.jp/

田面木遺跡 平成28年度発掘調査 現地説明会資料

平成28年8月27日(土)10:30~11:30
八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館

< 調査概要 >

調査目的: 長芋・ごぼう作付けによる 調査面積: 約800㎡
調査期間: 平成28年7月6日~9月9日(予定) 調査主体: 八戸市教育委員会 是川縄文館

< 田面木遺跡について >

馬淵川右岸の標高25~50mの丘陵地に立地します。
東西約400m、南北約800mの広さがあり、市内の中でも規模の大きい遺跡です。
現在までに49地点の発掘調査が行われており、主に飛鳥・奈良・平安時代の竪穴住居跡・竪穴遺構が150棟以上みつかっており、古代の大集落であったことが明らかになっています。



これまで調査を行った場所(田面木遺跡内)

【田面木遺跡遺構配置図】



28
年度調査区(49地点)

27
年度調査区(47地点)

26
年度調査区(43地点)

凡例

- 竪穴住居跡(飛鳥時代)
- 竪穴住居跡(奈良時代)
- 竪穴住居跡(平安時代)
- 土坑
- 溝状土坑
- 焼土遺構

S=1:500

<調査概要>

田面木遺跡の発掘調査は、平成 26 年度から続くもので、今年度は3年目となります。これまで約 3,900 m²を発掘調査し、竪穴住居跡・竪穴遺構が合計で 59 棟みついています。竪穴住居跡・竪穴遺構の数は、飛鳥時代から奈良時代にかけて多くなり、平安時代に大きく増加していますので、時代が経つにつれて大きな集落となっていた様子がわかってきました。

また、出土した遺物には、現在の秋田周辺に特徴的な出羽型甕という土師器や国府である多賀城周辺の遺跡から出土したものと同一「方人」と記された達筆な墨書土器が出土するなど、一般的に中央の権力に従わないエミシと呼ばれていた地域でありながら、他の地域とモノや文化の交流は活発に行っていた集落であったと考えられます。



墨書土器「方人」
(平安時代)

<今年度のみつかった遺構と遺物>

今回の調査区では、竪穴住居跡・竪穴遺構 12 棟（飛鳥・奈良時代 1 棟、平安時代 11 棟）、土坑 5 基、溝状土坑 2 基などがみつかりました。土坑の中には、3 カ年の調査の中では、はじめてお墓であった可能性がある長方形のものがみつかりました。

出土遺物は、土師器、須恵器、砥石、土製紡錘車、鉄製品（刀子・鉄鏃）、鉄滓などがみつかりました。



竪穴住居跡（平安時代）



土師器出土状況（飛鳥・奈良時代）